
モンスター・ハンター ~輝く季節へ~

如月 俊弥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンター～輝く季節へ～

【Zコード】

Z0194Z

【作者名】

如月 俊弥

【あらすじ】

大いなる大地、遙かなる空、その中に生きる人々達やモンスター達、それはすべて自然の恩恵を受けて生きてる。大きな世界の中の一人の少年の物語。さまざま人と出会い、色々なことは学んで成長していく、シリアスあり、笑い・ネタあり、涙あり（・・・あるかな？）のストーリーがここに始まる。

第一話 リヒト（前書き）

初投稿・処女作品です。一人のハンターの成長をギャグ（多々のネタ）あり・シリアスありで描いていくです。
誤字脱字の指摘や感想をお待ちしております。

第一話 リヒア

木々が立ち並び、山脈に沿つて流れる川、むき出し筋肌

それ一つ一つ荒々しく自然の喰みをかもしだしている

「ふう、これで終わりつゝ」

その渓流の中に額の汗を軽く拭いため息をつく少年がいる

彼はリヒト・フィリング2か月前に街の訓練学校を卒業したばかりの新米ハンターである。

「今日は運が良かつた、それにジャギィ相手にもだいぶ慣れてきたみたいだし」

足元にオレンジ色の体に背中に紫のラインが入ってる小型の肉食性の鳥竜種が倒れている

今彼が受けているクエストはジャギィ5頭の討伐である

基本ジャギィは群れで行動しているのだが今回は一頭や二頭づつで行動していたため

普段手こじる相手でも容易に倒すことができたのだ

戦闘で刃こぼれしたボーンククリを研ぎ直して腰に戾し

丁寧に剥ぎ取りを始めた。

「一通り回ったしそろそろ、村に戻らつかな」

ベースキャンプに向かつて歩きだした。

それを見る一つの陰に気が付かず。

第一話 リバース（後書き）

戦闘シーンがつまらなくてまどろくなかったのでスルーしちゃいました（
＾＾；

これから少しづつ書いていっていりますのでよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0194z/>

モンスターハンター～輝く季節へ～

2011年11月30日22時56分発行